

# 夏に読む本

推薦図書リスト



2021年7月

森村学園中高図書館

## 創刊に寄せて ～「読書のすすめ」～ 校長 江川昭夫

「みなさん、読書を楽しんでいますか。」といって、何を書こうか、思案している時に、「そうだ。Google で検索してみよう。」と思い、「読書のすすめ」と打ち込んでみました。

そうすると、以下の「若い人に贈る 2021 読書のすすめ 公益社団法人読書推進協議会」の言葉に出会いました。

若い人たちが本を読まなくなったといわれて、久しくなります。

若い人たちが本を読まなくなったという、

年上の人たちのことばは、

若いときにこそ本を読むべきであったという、

後悔のことばでもあります。

あなたのみずみずしい感性、好奇心、柔軟な思考、

そうしたものを豊かに持ちあわせている

〈若いとき〉に読書をすることは、

あとの生き方に必ず大きな実りをもたらします。

あなたが読書を日常のなにげない習慣にすれば、

思いもかけない幸せな「本との出会い」が

きっとやってくるにちがいありません。

「～with COVID-19～の時代」だからこそ、読書する時間ができますね。「暇だな。」と思って、手を伸ばせばそこに本がある。「積読(つんどく)」、積んでおくことで本を読んだ気がすることはさよならしましょうね。

本が苦手な人にも必ずその人にふさわしい本があるのではないのでしょうか。人は誰でも自分が経験したことのない世界・見知らぬ世界などは興味深いものに違いないからです。そして、何よりも、自分の思いを頭の中では実現してくれるのが「本の世界」だからです。

本の世界で、その人の世界、いわゆる、その人の人生観を広げていけるのではないのでしょうか。それを契機に、自ら考え、創造することから始められれば、「論理的・批判的・創造的」思考力を身につけることも、そんなに難しいことはありません。

本が苦手な人は、絵本から、挿絵のたくさんあるような本から始めてみませんか。本の好きな人は、おそらく本のインクのおいも好きなのではないのでしょうか。

この『夏に読む本』が少しでもみなさんの世界と可能性を広げてくれますように。

## 江川昭夫校長先生 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『ハナコの愛したふたつの国』 シンシア・カドハタ著  
もりうちすみこ訳 小学館

ハナコの家族はロサンゼルスでレストランを経営して暮らしていた。しかし、大きな戦争が終わり、船で日本を目指すことに。数奇な人生を送った日系人の物語。



高等部生  
に  
おすすめ

『グッバイ、コロンバス』 フィリップ・ロス著  
中川五郎訳 朝日出版

アメリカの小さな町、夏のプールサイド、若い男女が恋に落ちた。ニールは貧しい家柄の図書館員。名門女子大学生のブレンダは裕福な家の美しい女の子。「おろかさ」もまた、若さの特権であることが表されている。本作は永遠の青春小説と言われている。

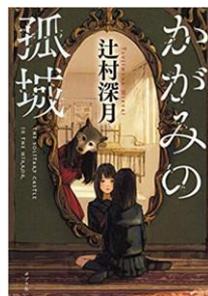


## 南雲あき先生 数学 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『かがみの孤城』 辻村深月 ポプラ社

学校で居場所を見つけられず不安な気持ちを抱えた中学生たちが、突然、光る鏡の中の不思議な城に集められます。いろいろな秘密が隠されていて驚きと感動がいっぱいの物語です。



高等部生  
に  
おすすめ

『ブロードキャスト』 湊かなえ 角川文庫

あのミステリー小説を書く湊かなえさんの本とは思えない（！？）青春小説です。高校の放送部というあまり知られていない世界が舞台ですが、思わず自分もやってみたい！という気持ちになります！



## 野崎順先生 英語 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『アルケミスト』 パウロ・コエーリヨ 角川書店

ある羊飼いの少年が旅をする物語。錬金術士(アルケミスト)というタイトルがついているが、錬金術を使った魔法の世界のファンタジー物語というよりも、人としてどう生きるべきなのかのヒントや智恵、そして人生において大切なものを教えてくれる物語。この物語を読み終えた時、今、自分の目の前に広がる世界がきっと違って見えるはず。ページ数が少なく、読みやすいが、そこに広がる世界はとてつもなく広く深い。



高等部生  
に  
おすすめ

『夢幻花』 東野圭吾 PHP

この世に存在しないはずの『黄色いアサガオ』を巡る数奇な運命の物語。長編ミステリーの巨匠、東野圭吾が贈る傑作。幻の『黄色いアサガオ』を中心に、多くの人々の人生が大きくうねっていく。登場人物のそれぞれの事情と思惑、目的と後悔、そして、使命と運命が複雑な糸として絡み合う。その絡んだ糸が、一つの事件をきっかけに解けていく…。物語後半の怒濤の展開もさることながら、前半から読者を深い謎へと引き込む展開は、強い引力を秘めている。



## 乾歩実先生 英語 推薦図書

中高  
共通

『さまざまな迷路』 星新一 新潮社

読書が苦手という人におすすめします。何と言っても、一つ一つの話の短さが最大の魅力です。一番短いもので1ページ。子どもの時から長い文章を読むことが苦手で、読書も数ページで飽きてしまっていたのに、この本と出会い読書が好きになりました。

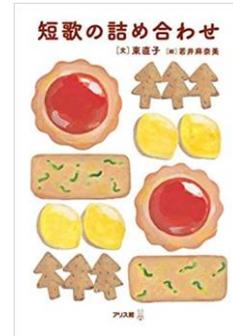


## 大村咲希先生 国語科 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『短歌の詰め合わせ』 東直子・若井麻奈美 アリス社

皆さんは「短歌」というと古典和歌のイメージでしょうか。実は現代にも様々な作風の歌人がいます。ぜひ多くの作者の、多くの歌を読んでみてください(短歌なら小説より気軽にたくさん読めるのでは?)。きっと驚きます。本書は中高生向けで解説が読みやすいです。その他短歌アンソロジーのおすすめは東直子ら編『短歌タイムカプセル』、岡井隆ら編『新・百人一首』、山田航編『桜前線開架宣言』、瀬戸夏子『はつなつみずうみ分光器』。



高等部生  
に  
おすすめ

『本当はちがうんだ日記』 穂村弘 集英社

高校生のとき、オーディーのラジオと若林正恭のエッセイ、ヤマシタトモコのマンガ、そして穂村弘の短歌とエッセイに支えられていました。穂村さんのエッセイはどれもよく読みましたが、とくに本書の「焼き鳥との戦い」に描かれた自分の不器用さとの格闘や世界からの疎外感に激しく共感しました。大学生になってしばらくして、自分は飲み会がとくに苦痛ではないとわかったとき、あてがはずれたような気持ちになりました。



## 池田依子先生 理科 推薦図書

中高  
共通

『おやすみルーシー / ウイルスがやってきた!』

ルーシー, 新妻 耕太 サンクチュアリ出版

昨今、「免疫」という言葉をよく耳にします。これは誰の体にも備わっている体のシステムです。この本は絵本ですが、テーマはその「免疫」です。小さな子どもに読み聞かせできるようなやさしい冒険物語でありながら、内容はスタンフォード大学の現役研究者かつ免疫 YouTuber が作った本格的なものになっています。日本語と英語の2言語表記になっていますので、自身の体のシステムを英語で読み解いてみるのも面白いと思います。



## 駒井洋章先生 数学 推薦図書

中高  
共通

『老師と少年』 南直哉 新潮社

人の生について考え、何かを感じられるものです。悩むとき、虚を感じる時に読んでみて下さい。



## 花村友美子先生 国語 推薦図書

高等部生  
に  
おすすめ

『蜻蛉日記をご一緒に』 田辺聖子 講談社文庫

大学入試で出題率の高い作品の一つ、蜻蛉日記。この本は現代語で書かれていますので、読みやすいです。あなたは彼や彼女の浮気を許せますか？平安時代に、一夫多妻制の中で、女性は夫がほかの女性のところへ行ってしまうことを内心どのように思っていたと想像しますか。さあ、この作品から平安貴族の世界を垣間見てみてください。原文は主語が省略され、一文がとても長く、混乱することがありますが、原文を読む前に、道綱の母と兼家の夫婦関係、筆者と道綱との親子関係などがわかっていると問題にぶつかった時にも楽しみながら解くことができます。夏こそ知識の貯蓄を……。



高等部生  
に  
おすすめ

『源氏物語』 瀬戸内寂聴 講談社文庫

源氏物語は、古典の学習・受験のための学習としてのみ触れる人が多いと思いますが、様々な登場人物の人生、ドラマ、かかわり方、悩み、愛などの描かれた作品です。古語だと読みにくいと思って敬遠しているみんなに現代語で読んでほしいと思います。きっと人生の大先輩に教わることがたくさんありますよ。一昨年角田光代さんが敬語を外してあっさりとした訳本を出されましたが、帝や貴族の世界を描くためには必要な敬語を丁寧に訳されている瀬戸内源氏をお勧めします。



## 多胡遥南先生 地歴・公民科 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『読むための日本国憲法』東京新聞政治部編 文春文庫

日本国憲法の条文が一条ごとに章に分けられ、詳しい解説が載っている本です。どんな条文にも歴史があり意図があり、今の私たちの社会に大きく関わっているものです。この本のいいところは、ただ条文の解説をしているのではなく、新聞記者ならではの視点で描かれています。現在の情勢や国会の中での議論なども交えているので、ぜひニュースと並行して読んでみてください。



高等部生  
に  
おすすめ

『過去は死なないーメディア・記憶・歴史』 テッサ・モーリス  
スズキ著 田代泰子訳 岩波書店

私たちが歴史に触れるのは、学校での歴史の授業だけではなく、小説・写真・映画・インターネットなど多くのメディアも強く関わっています。国家間で歴史問題が時折噴出している中で、私たちは普段の生活でどのように歴史と触れ、真摯に対応していくべきなのか考えさせられる本です。少し難しめの本だと思いますが、歴史に興味がある人は特に読んでみてください。歴史問題を考察するきっかけになればと思います。

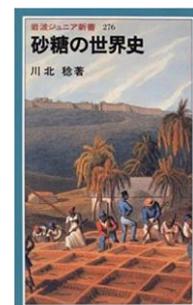


## 岡田康彦先生 社会科(地歴公民科) 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『砂糖の世界史』川北 稔 岩波書店

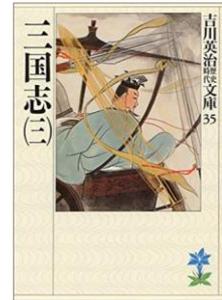
中学三年生の皆さんとは、産業革命の授業をしたときに参考文献として一部を載せましたね。砂糖なんてもはや生活の一部として当たり前前にそこに「ある」ものですけど、こんなありふれたものが、世界の歴史を大きく動かす重大なファクターとなっていて、そして今の生活(砂糖がある生活、という意味ではなく、私たちが生きるこの現代の生活)があるのです。岩波のジュニア新書ですからとても読みやすいですし、お勧めです！



高等部生  
に  
おすすめ

### 『三国志』 吉川英治 講談社

自分が中高生するとき、何を読んでいたかあと記憶を掘り起こしてみても、真っ先に思い出したのがこの小説でした。魅力的な登場人物の数々、グッと手に汗握る波乱の展開に、なけなしのお小遣いで全巻揃え、学校への行き帰りや寝る時間を惜しんで夢中になって読んでいたのを思い出しました。



## 花村哲男先生 国語 推薦図書

中高  
共通

### 『大地』第1部 パール・バック著

自身が高校生の頃、国語の先生が毎回の授業で朗読をしてくださった作品。貧しい農民の王(ワン)が、妻を娶る場面から始まり、少しずつ農地を蓄えて、やがて街一番の大地主になっていく。飢饉・蝗の襲来・盗賊とさまざまな試練を乗り越えながら、「大地」にしっかりと根をおろした農民・王の生きざまは逞しい。



### 『ゲイン・サーガ』 栗本 薫 著

新興ゴーラの進撃の前にパロの王国は滅び去り、王家の血をひくリンダとレムスの双子の姉弟は、からくも辺境に落ち延び、ゲインと名乗る、記憶を失った豹の頭を持つ戦士に助けられる。映像で楽しむ冒険譚をたまには活字で楽しんでもいいのではないかな。栗本氏の創造した不思議の世界をページを追って楽しんでもらいたい。



### 『戦争と人間』 五味川純平 著

新興財閥の五代産業。満州への進出を契機に、五代家の人々を中心とした、さまざまな人間模様が絡み合っていく。日本と中国そして朝鮮を舞台に描かれる激動の昭和史。映画化されているので、観てから読むのも一つの手。知ろうとしないと知らないままになりそうな、日本と中国のかつての関係を小説を通して体感できる。



## 渡辺京子先生 英語 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『西の魔女が死んだ』 梨木香歩 新潮社

主人公まいは中学生。この年代の女子特有の人に合わせる付き合い方に辟易して学校に行けなくなってしまったまいは、母親の勧めで祖母の家でしばらく過ごすことになった。祖母の家で「魔女修行」をしながら心が成長していく様子、祖母がまいにかける言葉、そして結末のメッセージ…など、忘れられない言葉や情景がたくさんあります。とても心励まされるステキなお話です。



高等部生  
に  
おすすめ

『【至急】塩を止められて困っています【信玄】(日本史パロディ 戦国～江戸時代篇)』

スエヒロ 飛鳥新社

本当は司馬遼太郎「竜馬がゆく」を書こうと思いました。上杉謙信大好きな私が、竜馬も大好きになって長崎で亀山社中まで行くほどにしてくれた本です。でも、こんな脱力系も楽しいのでは？誰もが知っている基礎的な歴史のネタをモチーフに、パロディやあるあるネタのようなもので展開しています。読みやすく笑っちゃいながら、歴史が楽しくなってしまう、そんな本です。タイトルの意味は、もしも戦国時代に知恵袋があったとしたら、武田信玄がこんな悩みを書き込んだのでは？ということで、その知恵袋でベストアンサーに選ばれたのは echigo tiger (越後の虎＝上杉謙信)さんの回答です(笑)ひとりで読んでいて声を出して笑っちゃいますよ。息抜きついでにどうぞ。



## 高田昌輝先生 技術家庭科・情報科 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『ギンカムロ』 美奈川 護 (集英社)

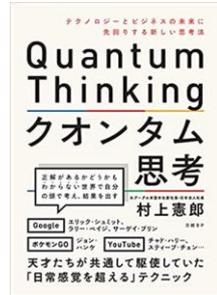
夏と言えば、花火。なぜ人は、花火を上げるのだろうか。お盆の時期に花火を上げるのは、鎮魂の意味があるからだ。「花火には、二つしかない。一瞬で消えるか、永遠に残るか。」女性の花火職人や事故で両親を失った青年が成長していく様子が描かれている。何より、花火を上手に言葉で表現しているので、実際に見たことない花火もその情景が脳裏に浮かんでくる。ぜひ、手に取ってほしい一冊だ。



高等部生  
に  
おすすめ

### 『クオインタム思考』 村上憲郎 著 日経 BP

元 Google 米国本社副社長まで上り詰めた村上憲郎さんの著書です。正直、この本を理解することは難しいです。「何を言っているのだろう。」と思うこともあるでしょう。ただ、この本の言うことが分かるようになったとき、あなたはモノの見方、考え方が変わっているでしょう。夏ですから、背伸びしてみませんか。

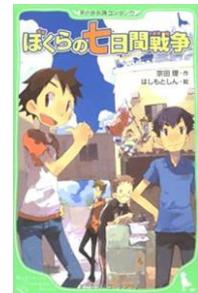


## 鈴木光明先生 数学科 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

### 『ぼくらの七日間戦争』 宗田理著 角川文庫

厳しい規律が敷かれた中学で、11人の少年少女が自由を求めて廃工場に立てこもり、大人たちに立ち向かっていく物語。映画化もされていて有名な本ですが、私自身も中学生の時にこの本をハラハラしながら読みました。この本がきっかけで、宗田理の「ぼくら」シリーズはほとんど読破しました。漫画しか読まなかった私を読書好きにさせてくれた、大切な本です。



高等部生  
に  
おすすめ

### 『総理にされた男』 中山 七里著 宝島社

「官僚って何？」と聞かれたら、あなたは答えられますか？総理大臣に瓜二つという理由で突然総理大臣の替え玉にされた無名の俳優が、総理大臣として奮闘する小説。設定は無茶苦茶ですが、テーマの内容は日本の政治課題そのもので極めてリアルです。国会・政党・内閣の関係も分かり、政治が全く分からない人も勉強になる、ハラハラスリリングな小説です。一気読み必至。



## 江口徹先生 保健体育科 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

### 『ミライの授業』 瀧本哲史 講談社

テクノロジーの発展により、多くの仕事はロボットが担うようになっていきます。そんなミライを楽しく過ごすためにはどうすればよいのでしょうか？それはミライを作る側の人間になることです。これまでにミライを作ってきた人たちには実は様々な共通点がありました。この本を読んで、ミライの作り方を学びましょう！読んだ後に日常生活の見え方が変わります！ミライの作り方のヒントはあなたの目の前にあるかもしれません！



高等部生  
に  
おすすめ

## 『サードドア:精神的資産のふやし方』 アレックスバナヤン 社

東洋経済新報

人生において行動を起こすときには 3 つのドアがあります。①誰もが使うドア②VIP 専用のドア、多くの人は①に嘆き、②を妬みます。しかし世の中には3つ目のドアがあります。③抜け道のようなドア。その場所は、誰も教えてくれないが、いつでも開いているものです。この本の面白さはこのスペースだけでは表現できません！まず読んでください！この本を読むことがあなたにとっての第3のドアになります。



## 萩原真澄先生 国語科 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

### 『ぼくの守る星』 神田茜 著 集英社文庫

中2の翔の悩みは、とんでもない読み間違いや言い間違いをして周りを笑わせてしまうこと。友達からは面白いやつだと一目置かれているけれど、翔や母は本気で悩んでいます。この本は、翔・母・父・翔とお笑いコンビを組もうと企むクラスメイトの山下・教室で一切口を開かないクラスメイトのまほりの6人の視点から描かれている短編集です。様々な人の視点から眺めることで、普段見えないものが見えてきます。面白いのに最後は涙が出てしまう、そんな本です。



高等部生  
に  
おすすめ

### 『ぼくの守る星』 神田茜 著 集英社文庫

中学生のところでもお勧めしたのですが、この本は高校生や大人が読んでもしっかりと感ずるところがある本です。人々の抱える悩みがリアルに描かれながらも、笑えて気楽に読める本なのでお勧めです。内容に関しては中学生のところを見てください。

## 山田幸恵先生 保健体育科 推薦図書

中高  
共通

### 『千夜一夜』 田丸雅智 著 小学館文庫

ちょっとした気分転換に読むには丁度良い本です。ショートショートなので、疲れた頭にも負担にならずに読めます。夏の課題で疲れたら手に取って読んでみて下さい。



## 飯塚明範先生 理科 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『ダーウインの「種の起源」: はじめての進化論』 サビーナ ラデヴァ (著),  
福岡 伸一 (翻訳) 岩波書店

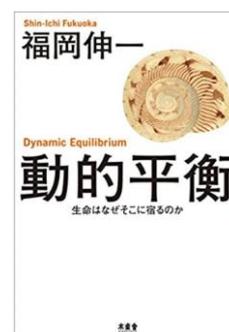
「種の起源」というのはイギリスの高名な自然科学者チャールズダーウインの著書です。彼はその中で「生物は不変のものではなく長期間かけて次第に変化してきた」という説を提唱しました。この絵本は「種の起源」に書かれた内容と、その後発展した「進化論」を分かりやすく解説してくれています。この絵本はとても美しく内容も充実しているので、絵を楽しんでいるうちに勉強もできちゃって一石二鳥です。是非一度手に取ってめくってみて下さい。



高等部生  
に  
おすすめ

『動的平衡』 福岡伸一 著 木楽舎

我々の体を構成する分子は常に新しいものに入れ替わっています。体内に存在している分子は約 3 年間でほとんど全てが別のものになってしまいます。物質的には今のあなたと 3 年前のあなたは全く別の存在です。では、あなたがあなたとして 10 数年間連続して生き続けているのは何故なのでしょう。それらの疑問を、生物学的な見地から易しい表現で説明してくれる名著です。著者の福岡伸一は、上で紹介した絵本の訳者でもあります。彼の文はシンプルですが力があります。是非一度読んでみて下さい。



## 大木崇先生 社会科 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『イリアス』

高等部生  
に  
おすすめ

『歴史』

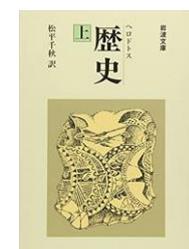
どちらも、岩波文庫 松平千秋訳

分量も多く、決して読みやすいとはいえないが、夏休みとか時間があるときでないとチャレンジできない、という意味で、夏のオススメにあげさせていただきます。

イリアスは、トロヤ戦争での英雄アキレスの活躍を描いたもの、

歴史はペルシャ戦争という古代の大戦争をめぐる歴史・地理のお話。

前者は登場人物(神)が多くて把握が大変、後者は地名が多くてどこだか分からなくなりがち、だが頑張っ！別に岩波でなくても、松平訳でなくても良い。むしろ、訳者によりこんなにも違いが出るのか、と読み比べるのも一興。



## 笠井淳三先生 入試広報・図書館担当 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『モンテ・クリスト伯』アレクサンドル・デュマ  
岩波文庫(電子書籍版)

19歳で名誉ある船長に抜擢され、最愛の女性と結ばれる幸福の真っ只中、エドモン・ダンテスは国家に反逆したという罪で海上の牢獄に投獄された。彼を妬み、保身のために事件を封印しようとした者達による無実の罪をかぶせられてのことだった。『巖窟王』として長年読み継がれてきたデュマの傑作小説は、胸のすくような復讐劇です。良い子はまねしてはいけません。読書が苦手な人は岩波少年文庫版でどうぞ。でもオススメは完訳本なのですが、残念ながら現在絶版。電子書籍版が岩波と旺文社から出ています。



高等部生  
に  
おすすめ

『これから「正義」の話をしよう』マイケル・サンデル著 鬼澤 忍訳  
早川書房

何が正しくて、何が正しくないのか。それが人により、立場により微妙にずれていたり、時には全く食い違っているのが現代である。答えのない問いに満ちあふれているのは、いわば当たり前のこと。それならば過去の思想・哲学はすべて無効なのか。サンデル先生は、「今を生き延びるための哲学」として、様々な思考実験を通して、私たちに有益な示唆を与えてくれる。最新刊『実力も運のうち 能力主義は正義か?』も話題になっている。

これからの  
「正義」の  
話をしよう  
いまを Justice  
生き延びる  
ための哲学  
Michael J. Sandel  
鬼澤忍 訳  
マイケル・サンデル

## 伊藤 なつみ先生 国語 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『受験脳の作り方ー脳科学で考える効率的学習方法ー』  
池谷裕二 新潮文庫

脳は命に関わる重要な情報以外は忘れるようにできている。では入試や学校のテストを突破するにはどうすればいいの? 一解決策は一つ。「脳をダメす」しかない。脳の記憶の仕組みと様々な高校生の実験談が面白いです。勉強してるのに成績が上がらない人、勉強の仕方が分からないという人はぜひ読んでみてください。



高等部生  
に  
おすすめ

『推し、燃ゆ』宇佐美りん 河出書房新社

「推しを推さないあたしはあたしじゃなかった。推しのいない人生は余生だった。」読んでいて心に響きました。力強い文体で一文一文に重みがあります。「推し」のいる人もいない人もぜひ読んでみてください。



## 清水真一先生 英語 推薦図書

中等部生  
に  
おすすめ

『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン (著), 久山 葉子 (翻訳) 新潮新書

Appleの創業者のスティーブ・ジョブズは、自分の子供にipad を触らせませんでした。ある調査では日本人がTVを見る平均は 1200 時間で、これを起きている 15 時間に当てはめると、年間 80~100 日=一生の約 15 年分をTVに費やしているのです。ではスマホはどうでしょうか。筆者は精神科医としてスマホが身体・脳に与える危険性を訴えています。皆さんもスマホとの付き合い方を考えてみてはどうでしょうか？



高等部生  
に  
おすすめ

『英語独習法』 今井 むつみ 岩波新書

英語を読んでいる時に、文章がそれほど難しくないのに内容が理解しにくいと思ったことや、可算名詞や不可算名詞との違いがあることに疑問をもったことはないでしょうか？この背景には「スキーマ」が関係しているかもしれません。スキーマとは認知科学の概念ですが、言語化されず無意識の中にあるもので、日本語のスキーマのままだと英語を理解することが難しくなってしまうのです。この本では、読解でなく文法にも役立つスキーマの例が多く挙げられているので、ぜひ参考にしてください。



## 石松江美 中高図書館 司書 推薦図書

中高  
共通

『キリン解剖記』 郡司芽久 著 ナツメ社

幼い頃から大好きだったキリンを研究している著者。研究者になることを決意したのは、18歳だったとのこと。子供のころから好きだったことに一貫して向き合ってゆく姿勢に、経験や知識を得て、さらに積み重ねてゆくことの大切さを教えられます。読み終わった後、動物図鑑を丁寧に読みたくなりました。そして動物園へ行って、あらためてキリンに会いたくなりました。



中高  
共通

『晴れ、時々くらげを呼ぶ』 鯨井あめ 講談社

くらげを降らせるという不思議な現象も、青春まっただ中ならできてしまう！？自分にも、クラスメイトにもちゃんと向き合う一生懸命さが、青春なのですね。本好きどうしの話しに刺激されて、読書したくなるかも。



# 先生インタビュー

理科 海鋒秀哉 先生



今回のインタビューは夏休み前の特集として少しロングランのお話になりました。お相手は理科の海鋒先生です。

どうして物理の道に進まれたのですか。

中学生の時は歴史が好きで、城や遺跡を探索する仕事に興味がありましたが、忘れもしない高2の物理の時間、窓際でボーッと空を眺めている生徒を注意した先生は、全員の教科書を閉じさせ、突然、なぜ空は青いのかを熱く語り始めたのです。その説明にクラス全員頷きながら耳を傾け、深く納得したのです。私自身は、今まで空の青さに疑問すら抱かなかったことにとってもショックを受け、恥ずかしさが込み上げてきました。こういうことをもっと早い時期に知っていれば、自分の将来の選択ももっと広がったんじゃないか、もっと若い人にこういうことを伝えていきたいなど、理科の教員になるために大学へ行きたいと思うようになりました。

高2の時点で物理の先生になろうと思われたのですね。

物理というより理科、自然界を説明できるのは理科なんですね。そして、もう一つの切っ掛けが、この世には、重さもない、大きさもない、でも何かあるというニュートリノの話聞く機会があり、「何もないけど、何かある」ってどういうことなんだ、それこそ宇宙物理分野の話であることを知って、物理を選びました。

若い人達に自然界の面白さを伝えたいという思いは実現していますか。

最近高校を担当することが多いのですが、中1の授業はとても楽しみです。たとえば、塩酸と水酸化ナトリウム水溶液を合わせると中和することは小学6年生で習いますね。でも、私たちの普段の生活、例えば台所にその様なものはありません。なんで塩酸と水酸化ナトリウムなのかといえば、実は身近なもので実験すると、誤差が大きく、煩雑で、良い結果がうまく出ないからなのです。ですからシンプルな塩酸と水酸化ナトリウムで学んで、それで終わるのではなく、身の回りのどんな場面で中和が使われているかということ学んで貰うというようなことを、30年近く一番大切にしてきました。中1生にはそういう話がたくさんできます。

**数学の苦手な文系人間には理科がわからないのではありませんか。**

いやいや、そうではありません。一番大切なのは疑問を持つことです。なぜなんだろうと思うことが絶対に必要なのです。中1に光の単元があって、一人で担当すると、なぜ空が青いのかで1時間、夕焼けが赤いことで1時間、虹に1時間、海の青さに1時間という風に、中高一貫を活かして重点的に話をするすることができます。

実際は中学生には空の青さを完全に説明することはできないのですが、高校に入って、少し数式なども使うと、直感とかイメージが確信に変わります。

**やはり…数学ですね。**

ハハハ、少し出てきます。でも小学生や中学生にとって一番大切なのは、なぜなのだろうと疑問を持つことなんです。その疑問を少しでも自分なりに解決していこうという気持ちになって欲しいのが高校生です。高3生にはよく言うんですが、疑問を持つことも大切だが、疑問を放置しないことがもっと大切なのだ、それが理系なのだと教えています。

**理系ではない人はどこまで物理を理解しておけば良いですか**

人間が作ったものを学ぶのが社会科だとすれば、自然が生み出したものを学ぶのが理科です。ニュートンが言っているように、私自身が知っている物理の知識など、グラウンドに落ちている米粒みたいなもの。知らないことだらけだし、すべてを知ることなど絶対無理。だからこれを知っておかなければならないというよりも、疑問を持つことが大切です。疑問を持つためには最低限の知識が必要かもしれませんが、最低限の知識+「なぜなんだろう」があればいいのです。いろいろなことに興味をもつこと、知識欲を持つことは、結論を知ることより大事なことです。文系・理系に限りません。理系だって、どうしてこういう法律があるのだろうかという疑問を持つことから始まるのだと思います。

高1生くらいによく言うのですが、人生は宝探しだという話をされていて、自分は理系だから、文系だから関係ないではなくて、一回で宝なんて見つからないし、見つかったって面白くない。まだ掘ったことのない場所を繰り返し掘ってみて、見つかったときの達成感は想像以上のものになるから、絶対に掘ることを止めてはいけない。だから今は、たくさんの無駄を経験しなさいと言っています。今の段階で取捨選択するのではなく、知識欲をもってやれることをやるのが大切なのです。

先生の話をお伺っていると、実にポジティブな気持ちになりますね。一方で、福島第1原発の事故や地球の温暖化など、若い人達の科学技術への疑念が影を落としているように思います。

そうでしょうか。3・11の大震災の後、大学の土木系・建築系の倍率が一気に上がり

ました。また地震予知を含め、理学部人気が高まりました。それは自然をコントロールするというのではなく、うまく付き合っていけないかということですね。こうなってしまった日本を、自分が建て直すんだとか、津波の被害を最小限に抑えようという高校生がたくさん出てきたんですね。つい最近も、熱海で大規模な土石流が発生し、甚大な被害が生じました。こういうことの後で、学生達が奮起して日本のために自分が何かしたいという動きがあるのでしょうか。2011年の時は、こういう高校生がいっぱい出てきたんだと、倍率表を見て涙が込み上げてきました。

#### **先生が出会った本をご紹介します。**

高3の春、ニュートリノを知ったときに、チェレンコフ光という言葉の響きに強く心引かれました。宇宙から飛んできたニュートリノが水中で発する青白い光です。それを捉えようと、岐阜県神岡にある廃鉱、地下1000メートルの跡地に水槽を造って水をため、そこを通過した足跡をチェレンコフ光として捉えようという話です。その話を聞いて釘付けになりました。私はすぐに横浜の有隣堂へ行って、ニュートリノの本を買いました。その日だったか、次の日の午前中だったか、あつという間に読み終えたのを覚えています。その本を書いた人が、後にノーベル賞を受賞した小柴さんです。「何もなければ何かある」について、もっと知りたいと思うようになりました。その後、ニュートリノには重さがあることがわかりましたが。

#### **私も以前、カミオカンデで光を捉えていた光電管の実物を見たことがあります。**

あれを作ったのは浜松ホトニクスという会社なんです。小柴さんから依頼を受けて、赤字覚悟で開発し提供したとのことですが、20年ほど前に授業でその話をしたら、ある生徒が「その会社の創業者はわたしのお爺ちゃんです」と言ってきたんですよ。

やっぱり森村って凄いですよね。この学校の人達は、いろいろなところで繋がりがあ

るんですね。カミオカンデ・ニュートリノということばと出会って、先生のように人生が変わっていく人もいれば、私のように知ってはいるものの意味をつかみ損ねている者もいる。面白いですね。

どこに出会いがあるかわかりません。だからこそ自分からいろいろと興味を抱くことが大切なのです。話は元に戻りますね。

#### **他には…**

ここにある『地球のかたちを哲学する』は絵本ですが、見ているだけで楽しくなります。昔の人は地球をどんな形と考えていたんだろう。写真や絵を見ているだけで、いろいろな疑問が湧いてきます。知識欲をかき立てる本がこの図書館にはたくさんあります。

いっぱい字が載っている本だけじゃないことを知って欲しいのです。その上で興味を持ったものについて調べてみると良いでしょう。

森村では「言語技術」ということばの教育を大切にしていますが、理系の疑問はイメージで始まることが多いのです。**ビジュアルライズ思考**ですね。最初に言葉ありきではなく、このような本を見て何だろうと思うことが大切ですね。雲の形ばかりを集めた本も有名です。

観察するうちに、何でここにこんな模様があるのだろうとか思いますが、必ずしもそれを一つ一つ言語化しているわけではありません。クリエイティブな発想は、ビジュアルライズ思考から生まれると東大の先生も言ってますね。見て想像することの重要性です。子ども達にはもっと見てほしいですね。

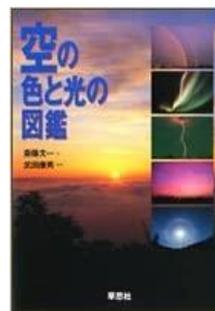
### 先生と図書館からのおすすめ！□



『地球のかたちを哲学する』  
文・絵 ギヨーム・デュプラ  
訳 博多かおる 西村書店



『空の名前』  
写真・文 高橋健司  
光琳社



『空の色と光の図鑑』  
斎藤文一 文  
武田康夫 写真 草思社

<編集後記>

コロナ禍の夏休みも2年目となり、日々の生活や学校での活動が制限されている現在、ますます読書の大切さが見直されています。

今夏の推薦図書も、先生がたからの選りすぐりの本をまとめました。リストを読むだけでも楽しめて、本を手にとってもらえるように、と思いながら編集しました。先生がたとの共通の話題にしていただけましたら、幸いです。

今日から始まる夏休み。読書の夏をスタートしましょう。

2021年7月19日

中高図書館 司書 石松江美

「夏に読む本～推薦図書リスト～」

令和3年7月19日 発行

編集・発行 森村学園中高図書館